

2021年4月15日

報道関係者各位

三菱地所株式会社

丸の内から大手町、神田エリアへのつながり・拡がりを実現 「(仮称) 内神田一丁目計画」始動

～人道橋の架橋による回遊性向上、船着場整備による水辺空間の賑わい創出を実現～

三菱地所株式会社（以下、当社）は、地権者とともに建替えの検討を進めてまいりました「(仮称) 内神田一丁目計画」について、本日4月15日より既存建物の解体工事に着手いたしました。2022年5月の新築工事着手、2025年の竣工に向け、事業を推進してまいります。

本事業は、神田・大手町エリアの回遊性向上を目指して、約1,000㎡の広場を整備するとともに、内神田エリアの無電柱化や人道橋を日本橋川に架橋することで、大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、大丸有エリア）を南北に貫く「仲通り」機能を神田エリアに延伸させます。

また、本敷地の脇を流れる日本橋川上においては、かつて「鎌倉河岸^{かまくらがし}」が存在し、江戸城築城の起点（荷上場）となって栄えてきた歴史があります。本事業では、「荷上場」の機能を復元すべく、日本橋川に防災船着場を新設し、災害時における防災力の強化に寄与するとともに、平時には観光利用等に供することで、東京都が推進する舟運の活性化に貢献してまいります。さらに、建物低層階にはアグリ・フード分野のビジネス・産業支援施設を整備し、企業間連携によるイノベーションを加速させていきます。

当社は昨年1月、2020年以降のまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ」と位置づけ、丸の内エリアから周辺エリアへの「つながり・拡がり」を目指すとともに「イノベーション・エコシステムの進化」を施策として掲げておりますが、本事業では、上記取り組みにより、それらの実現を目指します。今後とも当社は、神田・大手町エリアの更なる価値向上や創造的な賑わいの創出を目指すとともに、丸の内と周辺エリアとのつながり・拡がりのあるまちづくりに取り組んでまいります。



▲外観イメージ



▲広域図

■プロジェクトの特徴

① 賑わいの創出と歩行者ネットワークの強化

＜人道橋の架橋と広場の整備＞

大手町川端緑道から当敷地へと人道橋を架橋いたします（2012年に都市計画決定済み）。また、人道橋受地において、神田・大手町エリアの結節点となる交流広場を約1,000㎡整備し、大手町仲通りから連続する歩行者軸を強化することで、大丸有エリアの賑わいを神田エリアに繋げてまいります。



▲人道橋（イメージ）

＜観光案内機能の整備と防災船着場の活用＞

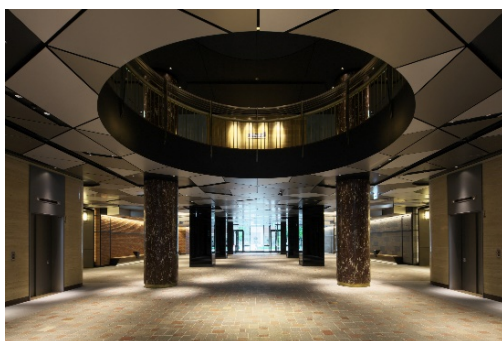
当敷地の南側（日本橋川）には防災船着場を整備し、平時には建物内の観光案内所と連携し舟運サービスの展開を予定しております。

＜区道の無電柱化・美装化＞

当敷地の北側に位置する区道558号線の無電柱化・美装化、区道549号線の美装化により神田エリアにおける歩行者ネットワークの強化に取り組んでまいります。

＜仲通り機能の強化＞

2019年に大手町ビルと読売新聞ビル、東京サンケイビル間の区道に横断歩道が新設され、2020年には大手町ビル内の貫通通路が完成し、丸の内から大手町へ仲通りが南北に繋がりました。また、都心の憩いの遊歩道空間である大手町川端緑道では、2020年10月～11月に期間限定でドッグパークを開設し、平日・休日ともに神田地域を中心とした多くの愛犬家から利用されるなど地域の活性化にも繋がっております。本事業では、こうした歩行者空間の整備や各種イベントなどの既存の取り組みを面的に拡大していく予定です。



▲大手町ビル内貫通通路
（ヒロ・フォトビルディング／石橋敏弘）



▲大手町川端緑道ドッグパーク



▲中域図

② 地域防災性の向上

＜帰宅困難者対応＞

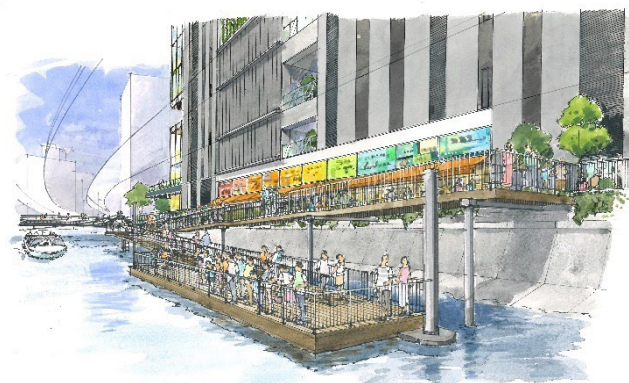
災害時には、新たに整備する約 1,000 m²の交流広場を一時滞留場所、建物内のエントランスホールなどを一時滞在施設として帰宅困難者に開放します。

＜防災船着場の活用＞

日本橋川に設置する防災船着場では、大手町エリアの医療施設等をはじめ、様々な人・物資・情報の連携をすることにより、神田エリアの防災拠点として地域防災性の向上を図ります。

＜地域冷暖房（DHC／District Heating and Cooling）の延伸＞

大手町エリアのエネルギーネットワークを神田エリアに延伸するため、地域冷暖房施設の洞道を整備し、神田・大手町エリア全体の環境負荷低減を目指します。



▲防災船着場（イメージ）



▲地域冷暖房延伸



▲狭域図

③ アグリ・フード分野のビジネス・産業支援機能の整備

2、3、4階では、ビジネスサポート機能を有するオフィススペースの整備に加え、イベントやセミナーを実施する交流サロンを整備し、アグリ・フード分野のビジネス・産業支援施設を整備します。「食」や「農」に関する分野の企業活動支援及び企業交流促進のためビジネス・産業支援施設を整備することで、同分野における先進的企業等の集積を図り、企業間連携によるイノベーションを加速させ、東京の国際競争力を強化をサポートしてまいります。

■計画概要

所 在 地：東京都千代田区内神田一丁目 8-1 外（地番）
主 要 用 途：事務所・店舗・ビジネス支援施設・駐車場等
敷 地 面 積：約 5,100 m²
延 床 面 積：約 84,500 m²
階数・構造：地下 3 階、地上 26 階・地上 S 造、地下 SRC 造（一部 S 造）
建 物 高 さ：約 130m
設計・監理：株式会社三菱地所設計
解体施工者：大成建設株式会社
新築施工者：未定

■スケジュール

2020 年 9 月 14 日：都市計画決定
2021 年 2 月 19 日：第一種市街地再開発事業施行認可
2021 年 4 月 15 日：既存建物解体着手
2022 年 5 月：新築工事着手（予定）
2025 年：竣工（予定）

【ご参考】

2020 年 1 月 24 日「丸の内 NEXT ステージ」始動

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf

2020 年 10 月 16 日「大手町リバーサイド・ドッグパーク」を開設

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec201016_dog-park.pdf

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf